





6. 津波対策

東京都が公表した津波想定(平成24年4月)によると、品川区において想定される最大津波高は、元緑型関東地震の2.61m(満潮時)となっています。品川浦から八ツ山通り(水門が閉まらなかった場合)や、立会川河口部周辺で浸水するおそれがあります。

また、平成25年5月に公表された「南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定」によると、南海トラフ巨大地震における品川区の最大津波高は、2.44m(満潮時)で、元緑型関東地震より低いと想定されました。

想定される浸水範囲

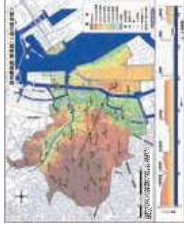
【首都直下地震等による東京の被害想定(平成24年4月公表)】

	① 東京湾北部地震	② 元緑型関東地震
概要	 <p>関東地方南部を震源とする地震</p>	 <p>相模トラフを震源とする地震</p>
揺れ方	下から突き上げるような揺れ方	縦揺れのと、ゆっくりとした横揺れ
震源までの距離	近い	遠い
マグニチュード	M7.3	M8.2
品川区の主な震度	6弱～6強	6強
津波について	<p>浸水想定はありません。</p>	<p>品川浦から八ツ山通りで、浸水するおそれがあります。</p>
防波堤との関係性	 <p>3.5m 防波堤高 2.61m ②元緑型関東地震 最大津波高(満潮時) 1.44m ①東京湾北部地震 最大津波高(満潮時) 1.0m 東京湾満潮水位 0.0m 東京湾平均海面(標準水準)</p>	 <p>立会川河口部周辺で、浸水するおそれがあります。</p>

どちらの地震においても、想定される最大津波高は防波堤の高さより下回っています。

標高の確認

津波からの避難は「高台」が基本です。事業所や周辺の標高を、標高図や標高検索システム、海抜標示板などで事前に確認しておきましょう。



【標高図】⇒36ページ



【標高検索システム】



【海抜標示板】

品川区 標高検索システム
<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000015700/hpg000015675.htm>



津波自主避難マップ

いざというときに、すぐに行動がとれるよう、各個人(各事業所)で作成するマイマップです。適切な津波避難ができるよう、事前に津波自主避難マップを作り、従業員に周知しましょう。



津波自主避難マップの作成方法は、下記ホームページを参考にしてください。

品川区 津波自主避難マップ作成マニュアル

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000019200/hpg000019115.htm>



津波避難施設

津波避難施設とは、気象庁から「津波警報」「大津波警報」が発表された場合、その警報が解除されるまでの間、避難者が一時もしくは緊急避難・退避する建物のことです。

「津波が目の前まで迫って来て、高台まで避難する時間がない」「高台まで遠くて避難できない」などに備え、品川区は津波避難施設の確保を進めています。

津波避難施設の拡充にご協力をお願いします。



沖ウインテック株式会社

～協力協定締結事業所の紹介～②

事業所の会議室を「津波避難施設」として開放します

災害時、事業所の一部を一時滞在施設として提供する協定を平成25年3月に区と締結していましたが、津波警報や大津波警報が発表された際にも、地域住民に事業所施設を開放する内容を追加して、平成26年3月に協定を再締結しました。地域住民の安全確保にも前向きに取り組んでいる事業所の一つです。

